

おわりに

本研究調査においては、国内外の多くの専門家や有識者に多大な協力をいただき、最新の高齢化問題と電子政府に関するヒアリング調査を実施することができた。本書が、人類史上初めての体験である「超高齢社会」の現状、問題点、課題そして提言を日欧比較をベースにまとめた点は有意義と確信している。とりわけ、高齢化・情報化・グローバル化が同時進行する複合社会の出現を ICT がどう解決していくかの命題に対して、私たちなりの解を見い出せた。貴重な時間のなかでさまざまな見地から意見交換をすることができ、本研究内容の深層化に大きな貢献をしてくださった関係者に改めて感謝申し上げたい。とりわけ、(財)行政情報システム研究所からは委託研究をいただき、いろいろと支援してもらった。

さらに、早稲田大学大学院小尾研究室に所属する研究員 Diana Ishmatova をはじめ大学院生；平野義隆、吉田剛、安井大祐、加藤陽太郎、謝旻虹、萩行さとみ、茂木俊宏、侯娜、王博、寧一霖、西脇靖弘、苑蕾、Andini Nuraini, Hoang Thu Huyen, ALOAINA Iluminado, Nguyen Manh Hien 君にも研究で協力してもらった。(このうち一部はすでに 2010 年 3 月に卒業した)。特に、平野、安井両君には、社会調査のデータ収集と一次分析を、その他の大学院生には欧州とアジアの高齢社会の現状についてレポートしてもらった。小尾研究室では現在約半分が海外からの留学生であり、国際比較研究を随時行っているが、彼らの努力にも心から感謝したい。